

## 1. 研究課題名

膵管内乳頭粘液性腫瘍（IPMN）切除後再発危険因子の同定：多施設共同研究

## 2. 研究の目的

膵管内乳頭粘液性腫瘍に対して外科的切除をしても、残った膵臓に再発したり、膵臓以外の部位に転移したりすることがあります。しかしながら、膵管内乳頭粘液性腫瘍の切除後治療成績に関する報告は少なく、手術後、どのくらいの間隔で再発・転移の検査を行い、いつまで再発・転移の心配があるかということは、わかっていません。そこで、本研究は、多施設の膵管内乳頭粘液性腫瘍切除患者さん 800 人のデータを集積し、より信頼性の高い膵管内乳頭粘液性腫瘍切除後の再発危険因子の同定を行うことを目的とします。

## 3. 研究の方法

### ●対象となる患者さん

膵管内乳頭粘液性腫瘍の患者さんで、平成 8 年 1 月 1 日から平成 26 年 12 月 31 日までの期間中に、当院で手術を受けた方

### ●研究に用いる試料・情報の種類

この研究で利用させていただくデータは、年齢、性別、血清腫瘍マーカー（CEA・CA19-9）、画像診断（結節径・嚢胞径・主膵管径）、病理診断、術後再発・転移の有無と部位、再発に対する治療、無再発生存期間、全生存期間に関する情報

### ●研究に用いる試料・情報の種類

上記カルテ情報を、研究代表施設である和歌山県立医科大学に集約して解析を行います。いずれのデータも、診療の中で得られた情報であり、この研究のために患者さんに新たな検査を行ったり、経済的負担をかけたりすることはありません。情報の保管は研究責任者が責任を持って行います。

### ●研究期間

実施許可日～平成 30 年 12 月 31 日

## 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

手稲溪仁会病院 消化器内科 担当医師（研究責任医師） 金 俊文

〒006-8555 札幌市手稲区前田 1 条 12 丁目 1-40

TEL：011-681-8111 FAX：011-685-2967